

S A G A

ふるさと納税だより Vol. 1 3



佐賀駅佐賀城口（南口）の、佐賀駅前交流広場が、11月に完成しました。

佐賀市を応援してくださっている皆様へ

皆様におかれましては、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

皆様には、ふるさと納税を通して、本市に対して大変温かいご支援をいただき誠にありがとうございます。

ふるさと納税だよりは、皆様からの貴重な寄付金を、どのように活用させていただいたのか、その内容についてお知らせするものです。

今回は、令和2年度に頂戴した寄付金を活用し、令和3年度に実施した事業内容についてお知らせいたします。

今後も引き続き、佐賀市への応援をよろしくお願いいたします。



佐賀市長 坂井 英隆

00

新型コロナウイルス感染症対策のために

活用額：116,714,000円

新型コロナウイルス感染症対策として、非接触型の自動消毒器及び消毒用アルコールの設置や庁舎内の消毒清掃、テレワークシステムの導入・運用をすることで様々なリスクにも耐えられる業務継続性の確保に取り組みました。

市立公民館全館にも消毒液や非接触型の体温計を設置し、市民の学習や地域活動の場として安心して利用できるよう活用させていただきました。

また、地方への移住や企業の創業・移転に関心が高まっていることを受け、佐賀市へ移住し、創業を検討している人や企業を誘致する活動に使わせていただきました。市内企業へもテレワーク導入・拡大支援として、経費の一部の補助や専門家を派遣し、市内企業のワークライフバランスの向上や業務の効率化に取り組みました。

佐賀ブルーナース、サガン鳥栖、久光スプリングスといった県内プロスポーツチーム等と共に、感染症の拡大で疲弊した市民やまちをスポーツの力で元気にするイベント「スポテン SAGA 2021」を開催しました。



市立図書館本館や分館用として、子ども向けの本や子育て関連の本をはじめ、一般書など約4,000冊もの本を購入しました。子ども向けの本は利用も多く、本に親しむことで豊かな心を育む大切な資料です。今回も多くの寄附を頂いたことで、新刊本を充実させるだけでなく、利用で傷んだ本も思い切って買い直しをすることができました。

購入した本は、図書館を訪れる多くの子ども達や子育て中の大人など、毎日、多くの人に利用されています。



活用額： 177,391,000円

子どもの学びの環境を 充実するために①

01

01 子どもの学びの環境を 充実するために②



佐賀市立小中学校で児童・生徒が使用する教材等を購入させていただきました。

サッカーゴール、跳び箱、体操マット、ライン引きなどの体育道具、オルガン、小太鼓、箏などの楽器、糸のこ機械、ミシンなど技術家庭科で使用する備品、特別な支援が必要な児童・生徒のための教材など、学校生活生活を充実させる様々な備品等を購入することができました。

児童・生徒たちのために、大いに活用させていただきます。



佐賀市立小中学校の教室に設置している電子黒板の整備費用として使わせていただきました。電子黒板の大きな画面に、デジタル教科書の画像や動画を提示するなど、視聴覚教材を活用することにより、子どもたちの学習への理解を深める手助けとなっています。

また、書画カメラや学習ソフトウェアを活用し、電子黒板に子どもたちの作品やノートを提示して、伝え合う活動や学び合う活動に取り組むことにより、子どもたちが主体的・対話的に学びを広げたり深めたりすることができています。

01 子どもの学びの環境を 充実するために③

子どもの学びの環境を 充実するために④

01

佐賀市立小中学校において、新刊本、人気の本や調べ学習に役立つ本など、それぞれの学校のニーズにあった本を選んで購入させていただき、学校図書館の本の充実を図りました。子どもたちは新しい本が棚に並ぶのを楽しみにしており、購入した本は毎日多くの子どもたちが手に取り、利用しています。

また、佐賀市立小中学校ではお互いに本の貸し借りをを行い、各学校で購入した本を全学校で活用しています。



本市では、市民総参加で子どもを育む「子どもへのまなざし運動」を推進しています。市内各地域で取り組まれている「登下校見守り」「学校行事」「地域イベント」等の様々な活動に役立てていただくよう、まなざし手袋、ベスト、帽子やのぼり旗などを製作しました。地域の皆様からは「ベストは目立つ色で分かり易く、子どもたちとのコミュニケーションもと取り易い」など、ありがたい言葉をいただいています。

また、経済的理由により就学が困難な市内小中学生2,759人の保護者に、給食費・学用品費等の支援を行いました。



活用額：155,673,000円

子どもたちへの支援・応援のために

02

03

高齢者、障がい者福祉の充実のために

活用額：43,979,000円



佐賀市営バス及び昭和バスを利用される70歳以上の方を対象に、持っていれば1回100円で乗車することのできる「シルバーパス券」の購入費の一部を助成しています。

運転免許を返納された方など、バスに乗って買い物や病院へ外出される際に利用されています。さらに、昭和バスのシルバーパス券購入者は、バスエリアの唐津市まで往復200円で行けるというメリットもあり、県内旅行を楽しむ、より行動的な高齢者にもたいへん好評な事業です。

活用額： 4,918,000円



佐賀市では、市民活動団体の活動基盤の強化を図り、市民のまちづくりへの参加と実践をすすめるために、市民活動団体が行う公益的な事業に対して、補助金を交付する制度「佐賀市市民活動応援制度」（愛称「チカラット」）を実施しています。

令和3年度は、「保健・医療・福祉」、「学術・文化・芸術・スポーツ」、「子どもの健全育成」などをテーマとする21事業（ちかっと部門7事業、カラット部門14事業）に対して、皆様からの寄附金を活用させていただきました。

04

市民活動の応援のために

災害に強いまちづくりのために

05

佐賀市では、毎年、春と秋に「川を愛する週間」という市民総出の河川浄化運動が行われており、9万人近い方々が水路の清掃活動に参加しております。頂いた寄附は、河川清掃道具の購入・修理などに有意義に使わせていただいております。

また、近年多発している局地的集中豪雨や台風の大雨などによる浸水被害を最小限に留めるため、樋門樋管や排水ポンプ等浸水被害対策に係る施設等の適切な維持管理や、調整池の貯留機能が損なわれることを防ぐための浚渫・除草・樹木伐採といった対策、災害に備え避難所における生活環境の向上などを目的に、食料や飲料水をはじめ、ダンボールベッド、粉ミルク、非接触型体温計などの購入に使わせていただきました。



活用額： 50,812,000円

交通安全の啓発のため、市内の幼稚園、保育園、こども園、小学校、中学校などで1万6千人以上を対象に交通安全教室を開催しました。

また、四半期ごとの交通安全運動期間中には市内各地で交通安全の啓発イベントを実施しています。その他、各小学校のスクールゾーンの路面標示を修繕したり、高齢者を対象にした交通安全講座を実施したりもしています。

佐賀市の交通安全指導員は、主に早朝に制服を着て、子ども達の登園・登校時の通学路等に立って歩行者の保護誘導をしています。各小学校区で活動しており、市内では現在110人の指導員が活動しています。

いただいた寄附は指導員の活動経費として謝金や装備品などに使わせていただきました。



活用額：16,210,000円

安全・安心に

暮らせるまちづくりのために

06

07

二酸化炭素を使って
子どもから高齢者まで喜ぶ社会に

活用額：1,719,000円



暮らしから発生するごみ・排水、森林や製材所の未利用木材など「廃棄物であったものがエネルギーや資源として価値を生み出しながら循環するまち」を目指す「バイオマス産業都市さが」のPRのためイベントへの出展、広報等を行いました。

また、清掃工場由来二酸化炭素の活用方法として炭酸泉設備導入を検討するため、企業と共同で高濃度人工炭酸泉による足浴体験イベントや健康講座を実施しました。

活用額： 12,938,000円



佐賀市の将来を担う子どもたちに環境教育を行い、習慣的に環境問題に取り組む姿勢を育むことを目的とした活動を行っています。

皆様からの寄附金は、小学校4年生向けの社会科副読本「くらしとごみ」の作成や、小中学校が市内の環境施設（清掃工場と東よかビジターセンター「ひがさす」）を見学する際のバス借り上げ料の一部補助に活用しています。

また、2020年カーボンニュートラルの実現に向けた取組の1つとして、走行時に温室効果ガスを排出しない電気自動車の普及を促進しています。令和3年度は市が管理運営している市内4か所の急速充電設備（諸富文化体育館、道の駅大和そよかぜ館、佐賀市役所富士支所、久保田特産物直売所味らん館）の電気代やコールセンターの費用などに使わせていただきました。



08

持続可能な低炭素・資源循環の
まちづくりのために①

持続可能な低炭素・資源循環の
まちづくりのために②

08

佐賀市では、2050年までに二酸化炭素の排出量を実質ゼロとすることを目指して「ゼロカーボンシティさがし」を表明し、市民や事業者の皆様と一体となって省エネやごみの削減などを進めています。令和3年度は、市民や事業者の皆様を対象とした気候変動セミナーや企業の脱炭素経営に関するセミナー、脱炭素に向けて先進的な取組をしている市内企業の見学会の開催経費として、皆様からの寄付金を活用させていただきました。

また、三瀬村にある洞鳴の滝に、平成30年に小水力・太陽光発電設備を備えた「洞鳴の滝ふれあい館」を整備して、一般の方を対象に、環境学習や地域の活性化を目的とした集会等にご利用いただいております。

令和3年度は、施設がいつでもきれいにご使用いただけるための環境整備や、発電設備が安定して運転できるための管理の経費として使わせていただきました。

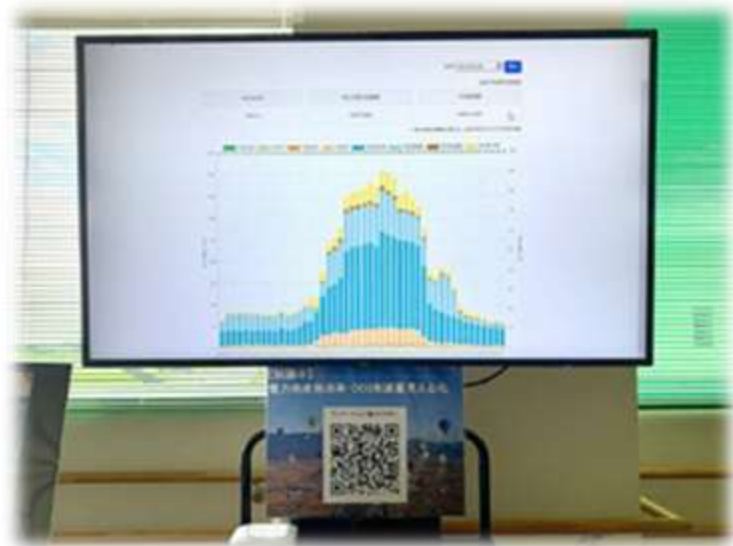


佐賀市清掃工場では、ごみを焼却した熱を利用して、電気を作っています。

発電した電気を市内の小中学校等で使用すること（電力の地産地消）で、火力発電所で発電した電気を使用する場合と比較して、二酸化炭素の排出量を削減しています。

今回、ブロックチェーンというIT技術を活用して、電力の地産地消率や二酸化炭素の排出削減量を正確に把握する（見える化）の研究に取り組みました。

研究成果は、佐賀市清掃工場内のモニターで展示しました。



持続可能な低炭素・資源循環の

まちづくりのために③

08

08

持続可能な低炭素・資源循環の

まちづくりのために④



家庭から出る燃えるごみの中で最も割合が多い生ごみを中心に、ごみ減量と生ごみの有効利用を図る取り組みを行っています。

（１）NPO法人へ委託して市内各地で生ごみ減量講座を開催し、各家庭での取り組みが継続するように相談・サポートも行っています。生ごみ堆肥を使った野菜づくりなど、楽しみながら取り組める方法を紹介しました。令和３年度は51回の講座に886人の参加があり、サポート活動は270回、303人を対象に行いました。

（２）生ごみ減量と資源化のため、家庭用の生ごみ処理容器等の購入費補助を行っています。令和３年度は153件の補助を行いました。

活用額： 11,908,000円



佐賀市は、緑豊かな山間部、佐賀平野に広がるクリークや田園風景、宝の海である有明海など素晴らしい自然環境に恵まれています。このような環境を維持し、後世に残していくために各種環境調査を実施しています。今回の寄附により、市内148地点で河川水、地下水等の水質調査を行い、また市内9ヶ所で自動車騒音・振動調査、一般環境騒音調査等を行いました。結果は市ホームページ等で公表しています。

今後も暮らしに身近な生活環境の向上のために取り組んでまいります。

09

暮らしに身近な
生活環境の向上のために

①

暮らしに身近な

生活環境の向上のために②

09

佐賀市では、地域で野良猫の世話や見守りをする地域猫活動を行う方や、猫を飼っている方を対象に不妊去勢手術費用の一部を助成しています。これにより、新たに野良となる猫を無くし、捕獲や処分をせず野良猫を少しずつ減らしていくことを目指しています。

この活動が続けることで、地域に生きる猫たちが幸せに暮らせるよう、今後も見守っていただければと思います。

また近年、特定外来生物であるアライグマによる生活環境被害の件数が増加傾向にあります。狂犬病やアライグマ回虫等の感染症を媒介するとも言われているため、市民の方と協力してアライグマの捕獲を行っています。令和3年度の市街地における捕獲頭数は前年から5割近く増えました。市民の皆様が安心して暮らせるよう、今後も対策を続けていきます。



さが桜マラソンは、全国から1万人が参加する佐賀の一大スポーツイベントとして定着してまいりました。2022大会は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により中止となりましたが、皆様からの寄付金を使用し、スマートフォンなどを使って行う「オンラインマラソン大会」を開催しました。「つなぐ」を大会テーマとし、コロナ禍で多くの大会が中止となる中で、全国のランナーの気持ちを次に繋ぐ大会となりました。

また、大会に関わるすべての方への感謝を込めて、東京パラリンピック金メダリスト道下美里さんなどの大会アンバサダーによるトークショーや熱気球体験搭乗などの来場者参加型のイベントを開催しました。



トークショーの様子



体験搭乗の様子

活用額：6,112,000円

スポーツを活かした
まちづくりのために

10

11

賑わいを生み出す
佐賀駅周辺にしていくために

活用額：8,249,000円



J R佐賀駅前広場や周辺道路の再整備費用として使わせていただきました。新しくなった南口駅前広場では、待ち合わせや天気の良い日にランチをしながらくつろいだり、イベントやキッチンカーの出店などで活用できる「佐賀のまちの新たな玄関口」として整備しました。

今後はSAGAサンライズパークと中心市街地をつなぐ「市内各地域への起点」とし、賑わいを生み出すスペースとして、幅広く活用していきます。

活用額： 18,141,000円



佐賀市では、市民が主体的にみどりあふれるまちづくりを推進する活動を支援しています。公園や公民館など、地域に密着した場所で花植え活動をされている団体が多く、市内が花でいっぱいになるように日々のお世話などを頑張ってください。

皆様から頂いた寄附金は、現在223団体が登録されている花づくりボランティア団体に対し、年2回、緑化資材（花苗や肥料等）の現物支給を行う費用として、大切に活用させていただきました。また、花づくりボランティア活動啓発のための、各花壇への看板の設置も行っています。

12

花とみどりあふれる
美しい佐賀のために①

花とみどりあふれる

美しい佐賀のために②

12

佐賀市では、“みどりと水が調和した佐賀の風景や人の営みを、市民と一体となって、子どもたちの世代へと守り育てよう”という思いを引き継ぎ、市民と手を取り合いながら、みどりあふれるまちづくりを進めています。

皆様から頂いた寄附金は、金立公園への「イロハモミジ」の植樹や、多布施川河畔公園などの樹木の剪定等に活用させていただきました。また、蓮池公園においては、地域の方々により、花菖蒲の復元に取り組まれており、市もその支援を行っています。



三重津海軍所跡は国史跡であるだけでなく、世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つにもなっています。

このような三重津海軍所跡や世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の概要や価値を正しくわかりやすく伝えるため、3か年かけて三重津海軍所跡に隣接する佐野常民記念館の改修工事を行いました。

工事完了後は、施設の名称を「佐野常民と三重津海軍所跡の歴史館」と改め、令和3年9月25日にリニューアルオープンしました。



活用額：21,672,000円

幕末産業遺産の 保存・活用のために

13

14

伝統文化・遺跡等の 保存・継承・振興のために

①

活用額：18,663,000円



佐賀市では文化財の所有者が実施する保存修理等に対する補助金による支援や、市が所有している史跡の維持管理を行っています。

令和3年度は、次の事業に「ふるさと応援寄付金」を活用し、長年の使用で傷んだ施設や用具の整備及び史跡の維持管理を行いました。

【補助金による支援】

佐賀市重要無形民俗文化財「松枝神社奉納浮立」
用具整備事業

【史跡の維持管理】

- ①重要文化財「佐賀城鯨の門及び続櫓」
- ②佐賀県史跡「船塚」
- ③佐賀市史跡「大野代官所跡」



肥前国庁跡は奈良・平安時代の役所の跡で、発掘調査によりその全貌が判明している学術的にも極めて価値のある遺跡で、国史跡に指定されています。現在は肥前国庁跡歴史公園として整備され、南門等が復元されています。

令和3年度の芸能祭では、復元された南門をライトアップして、薩摩琵琶・大和太鼓・ポップス&ジャズなどの演奏会を実施しました。芸能祭はこれまで7回実施していますが、毎回多くの方が来場され、高評価を得ています。

14

伝統文化・遺跡等の
保存・継承・振興のための②

②

伝統文化・遺跡等の

保存・継承・振興のために③

14

国史跡 東名遺跡は、国内最古の湿地性貝塚（約8,000年前）で、日本を代表する縄文時代の遺跡です。現在は、治水対策用の調整池の中にあり、特殊な環境で保存されているため、遺跡を恒久的に保存していくためには、保存環境を監視していく必要があります。

令和3年度は、モニタリング調査を行い、遺跡の保存環境が安定していることを確認しました。その他、保存地区や展示施設（東名縄文館）の維持管理も行っています。



佐賀市には、地域の方々などで守り伝えられてきた固有の行事や伝統芸能、歴史や文化（地域資源）が溢れています。

「地域文化保存・継承支援事業」では、この地域資源を次世代に継承することを目的とした活動に支援を行っており、令和3年度は下記の5事業への補助を行いました。

- ①巨勢町史跡案内板設置事業
- ②佐賀錦の古式機である板機と中台の制作と技術継承講習会
- ③「小杭集落ふるさと小史」の発行事業
- ④「八田先生記念碑」の補強事業
- ⑤「さがのみんな」絵本製作』



伝統文化・遺跡等の
保存・継承・振興のために④

14

15

大隈重信記念館事業を
推進するために

活用額：21,629,000円



大隈重信記念館では、総理大臣を二度務めた政治家、また、早稲田大学の創設者として有名な佐賀の偉人である大隈重信侯に関連する貴重な資料や映像を展示しています。令和3年度は、大隈重信没後100年を記念した特別企画展を2部構成で実施しました。

また記念館では、屋上防水シートの経年劣化のため、国及び県の文化財関係補助金を活用し、防水改修工事を行いました。

【令和3年度の入館者数：8,227人】

活用額： 1,590,000円



2021佐賀インターナショナルバルーンフェスタは、新型コロナウイルス感染症の影響により、11月4日（木）～6日（土）の3日間、規模縮小及び期間を短縮した無観客の国内大会として開催しました。

皆様から頂いた寄附金は、ポスターの作成といった広報費用及び、熱気球競技開催のための河川敷の草刈りや整地費用、無観客開催となったため、会場への一般来場者の出入りを制限するための警備費用の一部として大切に活用させていただきました。

16 “バルーンのまち佐賀”推進のために

ラムサール条約湿地の保全と活用のために 17

東よか干潟は、渡り鳥であるシギ・チドリ類の渡来数が日本一を誇り、水鳥の生息地として国際的に重要な湿地として、ラムサール条約湿地に登録されています。

世界に認められた東よか干潟を守るための環境調査や保全活動のほか、その魅力を現地で伝えるため、ボランティアガイドの運営などを行っています。

また、「東よか干潟」の学習・交流・観光等の拠点施設である、「東よか干潟ビジターセンター“ひがさす”」を中心にワークショップやイベントを開催し、環境教育や地域の振興にも取り組んでいます。



活用額： 14,949,000円

令和3年度「第22回佐賀城下ひなまつり」は開催に向けて準備をしておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、開催直前に残念ながら中止となりました。

小中学生制作ひな人形展示「第8回子どもびなの宴」については、市内の小中学校27校に参加いただき、佐賀城本丸歴史館にて約1,900体の手作りのひな人形を展示しました。2月21日（月）から3月13日（日）までの展示期間中、多くのお客様にご覧いただくことができました。



活用額：1,294,000円

街なかの祭り等を通した
賑わいづくりのために

18

19

佐賀空港北側の
川副桜ロードのために

活用額：2,794,000円



九州佐賀国際空港の北側に「川副桜ロード」があります。ここは、約400本の桜が咲き、佐賀市でも有数の桜の名所として長年親しまれています。

桜が満開を迎える頃には、道路の両側に植えられた桜がトンネルのようになり、毎年多くの観光客や花見客が訪れます。

昨年度も皆様から寄せられた『ふるさと応援寄付金』のおかげで、桜の維持管理を行うことができました。

今後も、この美しい桜ロードを多くのみなさまに親しんでいただけるよう努めて参ります。

活用額： 865,000円



佐賀市の北の玄関口、三瀬村周辺の観光資源を積極的にPRし、観光客誘致及び地域活性化を図る目的で、『ぐるるん三瀬』（周遊＋自然体験や自転車）をテーマに「みつせ高原キャンペーン」を開催しました。

情報誌を作成し、三瀬高原周辺のグルメ・買物・観光農園・レジャーなどの観光情報を幅広く紹介しました。参加店を利用しスタンプを集めて応募すると抽選で豪華賞品が当たるスタンプラリーを開催し観光客の周遊を図りました。

○開催期間R3.7.17～12.31

スタンプラリー応募者数 1,376人

21

みつせ高原キャンペーン等で

賑わいづくりを

サガン鳥栖の応援のために

22

サガン鳥栖との交流宣言に基づき、佐賀市の子どもたちに向けて、巡回サッカー教室、現役選手が“夢”を語る「夢」先生をはじめ、佐賀市の観光名所や特産品を背景に佐賀弁ラジオ体操のサガン鳥栖版の製作、アウェイ戦のパブリックビューイング開催、ブラインドサッカー体験イベント開催、佐賀市がマッチスポンサーを務める試合で、クラブバナーを製作しました。サガン鳥栖、ひいては、サッカーを身近に感じてもらえたのではないかと思います。

佐賀市を拠点とするサガン鳥栖ユースには、荷物運搬用車両や駐輪場設置の補助をしました。



活用額： 21,851,000円

※20「古湯映画祭等で賑わいづくりを」については、コロナの影響で中止になり、後年度活用のため、全額基金に積立てています。

地元のプロスポーツチームを応援する機運を高めるとともに、市外からの観戦者を呼び込む、まちのにぎわいづくりのため、「よかBuy! ワンコイン割引チケット」と称して、B2リーグ戦ホームゲームの1・2階指定席の前売りチケットを500円割引して、販売していただきました。

気軽にプロバスケットボールの試合を観戦していただく機会を提供することができ、多くの方に佐賀ブルーナイズの選手の皆さんの熱い試合を楽しんでいただきました。



活用額：3,646,000円

佐賀ブルーナイズの応援のために 23

令和4年度活用 ふるさと応援寄附金活用見込

メニュー項目	活用見込額（円）	備考
0. 新型コロナウイルス感染症対策のために	119,145,000	
1. 子どもの学びの環境を充実するために	148,287,000	
2. 子どもたちへの支援・応援のために	155,481,000	
3. 高齢者、障がい者福祉の充実のために	45,583,000	
4. 市民活動の応援のために	9,453,000	
5. 災害に強いまちづくりのために	42,477,000	
6. 安全・安心に暮らせるまちづくりのために	17,562,000	
7. 二酸化炭素を使って子どもから高齢者まで喜ぶ社会に	32,047,000	後年度に活用するため、基金積立
8. 持続可能な低炭素・資源循環のまちづくりのために	18,271,000	
9. 暮らしに身近な生活環境の向上のために	7,738,000	
10. スポーツを活かしたまちづくりのために	8,603,000	
11. 賑わいを生み出す佐賀駅周辺にしていこうのために	6,997,000	
12. 花とみどりあふれる美しい佐賀のために	17,840,000	
13. 幕末産業遺産の保存・活用のために	8,305,000	後年度に活用するため、基金積立
14. 伝統文化・遺跡等の保存・継承・振興のために	27,585,000	
15. 大隈重信記念館事業を推進するために	25,138,000	
16. “バルーンのまち佐賀”推進のために	6,657,000	
17. ラムサール条約湿地の保全と活用のために	18,694,000	
18. 街なかの祭り等を通した賑わいづくりのために	1,564,000	
19. 佐賀空港北側の川副桜ロードのために	9,216,000	
20. 古湯映画祭等で賑わいづくりを	4,240,000	
21. みつせ高原キャンペーン等で賑わいづくりを	666,000	
22. サガン鳥栖の応援のために	20,055,000	
23. 佐賀ブルーナイズの応援のために	1,354,000	
24. 市長おまかせ（指定なし）		事務経費他に振り分け
合計	752,958,000	